

同意の取得について：

今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。以下、研究の概要を記載しておりますので、本研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

#### 研究課題名：

当院におけるアスベスト暴露歴のある患者の消化管悪性腫瘍発生リスクの検討

#### 当院における実施体制

研究責任者：消化器内科 加藤 諒

#### 研究の意義と目的：

アスベストは様々な化学的組成をもつ繊維状のケイ酸塩鉱物からできており、呼吸で吸い込まれたアスベスト繊維は、肺の深部まで入り込み、瘢痕化を引き起こします。また、胸膜肥厚を引き起こすこともあり、このような肥厚を胸膜プラークと呼びます。

アスベストは肺癌の原因となることもあり、その発症リスクには吸入したアスベスト線維の量と相関があると言われていました。

また中皮腫は、胸膜中皮腫、腹膜中皮腫ともにその80%がアスベスト暴露との関連があると言われており、比較的短期間の暴露でも中皮腫を生じることがあると報告されています。

吸入されたアスベストの50%は呼吸器系粘膜の繊毛運動によって呼吸器系から排出され、嚥下されることにより消化器系に移行することが知られています。また傾向的に摂食されるアスベストもあるため、消化器系はアスベストが多く入り込む場所となることになり、消化器癌などの要因になる可能性が指摘されており、実際に食道癌や膵癌においては、アスベスト暴露による発癌リスクの上昇が報告されています。

本研究は当院に石綿関連疾患で通院中（健診含む）の患者における消化器癌患者について検討することで、その臨床的特徴を検討するものことで、アスベスト曝露歴のある方の消化器癌発症リスクを明らかにすることを目的とします。

#### 観察研究の方法と対象：

本研究の対象となる患者さんは2010-2020年の10年間に当院に通院歴のある石綿曝露患者様を対象とします。

#### 研究に用いる試料・情報の種類：

利用させていただくカルテ情報は下記です。

診断名、年齢、性別、既往歴、家族歴、生活歴、内服薬、身体所見、血液検査（血算、生化学、凝固）、画像検査結果、内視鏡検査結果、病理組織学的所見、手術記録。

#### 外部からの試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供は学会誌の提供以外行いません。

研究解析期間：承認日 ～ 西暦 2026 年 3 月 31 日

**研究対象者の保護：**

本研究に関係するすべての研究者は、ヘルシンキ宣言（2013 年 10 月 WMA フォルタレザ総会[ブラジル]で修正版）及び人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（2017 年 2 月 28 日一部改正）に従って本研究を実施します。

**個人情報の保護：**

患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離れた上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる情報は含みません。

**利益相反について：**

本研究は、消化器内科の研究費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画し実施するものです。従いまして、研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。なお、本研究の責任者および分担者は、岡山ろうさい病院倫理委員会に必要事項を申告し、その審査を受けております。

**研究組織**

研究代表施設と研究代表者

岡山ろうさい病院 消化器内科 加藤 諒

参加施設

岡山ろうさい病院

**お問い合わせ先：**

本研究に関するご質問がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障が無い範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができますので申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先まで申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることは有りません。

岡山労災病院 消化器内科

電話：086-262-0131

研究責任者：加藤 諒